

令和5年6月26日

交通事故概況

令和5年5月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（5月末計上数（確定数））

1 令和5年5月中の交通事故発生状況

区分\内容	5月中		5月末	
	発生件数	前年比	発生件数	前年比
発生件数（件）	620	-16	3,605	203
死者数（人）	9	-2	33	-5
傷者数（人）	710	-33	4,264	268

[過去10年、5月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	過去平均		R5年	
												10か年		5か年
												13		12
5月中死者	9	19	17	9	11	20	12	10	7	11	13	12	9	
5月末死者	48	61	60	52	41	56	42	44	39	38	48	44	33	
年間死者	184	169	177	158	148	141	152	144	120	115	151	134	—	

都道府県別（5月中）

順位	1	2	3	4
都道府県名	愛知県	大阪府	埼玉県	千葉県 神奈川県 北海道 群馬県
死者数	15	14	11	9

都道府県別（5月末）

順位	1	2	3	4	10
都道府県名	大阪府	愛知県	千葉県	神奈川県 東京都	北海道
死者数	72	63	48	44	33

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 5月中の死亡事故(死者9人)

- 事故類型別：人対車両が5人(55.6%)、車両単独が2人(22.2%)
- 道路別：市町村道が6人(66.7%)、国道が3人(33.3%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が5人(55.6%)、非市街地カーブが2人(22.2%)
- 発生時間別：14～16時、22～24時が各々2人(22.2%)
- 第一当事者年齢別(第1当原付以上)：60～64歳の運転者が4人(44.4%)、25～29歳の運転者が2人(22.2%)
- 第一当事者違反別(第1当原付以上)：前方不注意が3人(33.3%)
- 死者年齢別：高齢者が5人(55.6%)、60～64歳が2人(22.2%)

(2) 5月末の死亡事故(死者33人)

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が11人33.3%（うち歩行者妨害、安義その他が各々3人27.3%）
 - ・ 車両単独が8人24.2%（うち前方不注意が5人62.5%、最高速度が2人25.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が11人33.3%（うち人対車両が4人36.4%、正面衝突、車両単独が各々3人27.3%）
 - ・ 道道が11人33.3%（うち出会い頭が5人45.5%、車両単独が3人27.3%）
 - ・ 市町村道が9人27.3%（うち人対車両が6人66.7%、自転車対車、正面衝突が各々1人11.1%）
- 地形・道路別：
 - ・ 市街地交差点が13人39.4%（うち人対車両が7人53.8%、出会い頭が3人23.1%）
 - ・ 非市街地直線が8人24.2%（うち正面衝突が4人50.0%、車両単独が3人37.5%）
- 発生時間別：
 - ・ 18～20時が7人21.2%（うち車両単独が3人42.9%、人対車両が2人28.6%）
 - ・ 12～14時が5人15.2%（出会い頭が3人60.0%、人対車両、車両単独が各々1人20.0%）
 - ・ 14～16時が5人15.2%（正面衝突が3人60.0%、自転車対車、車両単独が各々1人20.0%）
- 第一当事者年齢別(第1当原付以上)：
 - ・ 40歳代の運転者による死者が10人30.3%（うち人対車両が5人50.0%、出会い頭が4人40.0%）
 - ・ 高齢運転者による死者が6人18.2%（うち車両単独が3人50.0%）
- 第一当事者違反別(第1当原付以上)：
 - ・ 前方不注意が10人30.3%（うち車両単独が5人50.0%、人対車両、正面衝突が各々2人20.0%）
 - ・ 一時不停止が4人12.1%（出会い頭が4人100.0%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が13人39.4%（うち人対車両が7人53.8%、正面衝突、車両単独が各々2人15.4%）
 - ・ 50歳代の死者が5人15.2%（人対車両2人40.0%、正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人20.0%）
 - ・ 60～64歳の死者が5人15.2%（人対車両、車両単独が各々2人40.0%、正面衝突が1人20.0%）
- シートベルト着用者：
 - 自動車乗車中の死者19人中、シートベルト非着用者は4人(21.1%)であり、その内の2人は、シートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

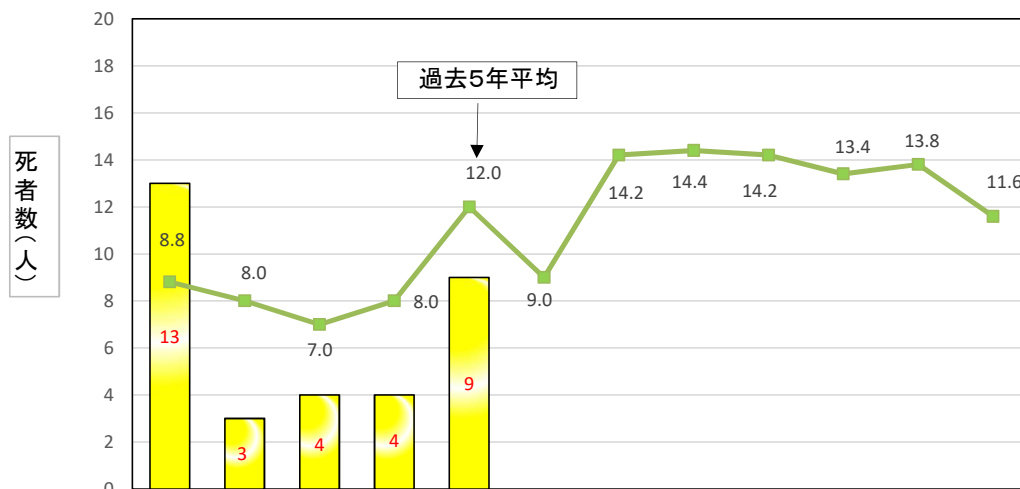
(3) 方面別発生状況

5月中の死者は札幌方面が6人(66.7%)、函館方面、旭川方面、北見方面が各々1人(11.1%)となっている。
 5月末の死者数は札幌方面が20人(60.6%)、旭川方面が5人(15.2%)、北見方面が4人(12.1%)、釧路方面が3人(9.1%)、函館方面が1人(3.0%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
5月中	全道	620	-16	9	-2	710	-33	5月末	全道	3,605	203	33	-5	4,264	268
	札幌方面	461	22	6	3	535	24		札幌方面	2,709	169	20	-1	3,198	237
	函館方面	41	-22	1	1	43	-32		函館方面	212	-28	1	-2	248	-47
	旭川方面	44	-6	1	-4	50	-9		旭川方面	273	5	5	-4	323	-7
	釧路方面	59	-8		-3	66	-9		釧路方面	314	58	3	-1	369	83
	北見方面	15	-2	1	1	16	-7		北見方面	97	-1	4	3	126	2

(4) 月別発生状況の推移

5月中の死者は9人で過去5年平均12.0人を下回っている。
 5月末の死者数は33人で過去平均43.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和5年	13	3	4	4	9								33
年間累計	13	16	20	24	33								
過去5年平均	8.8	8.0	7.0	8.0	12.0	9.0	14.2	14.4	14.2	13.4	13.8	11.6	134.4
累計平均	8.8	16.8	23.8	31.8	43.8	52.8	67.0	81.4	95.6	109.0	122.8	134.4	

(5) 都道府県別死者

5月中は愛知県が15人で最も多く、次いで大阪府が14人、埼玉県が11人となり、北海道他3県は9人で4位となってる。
 5月末は大阪府が72人で最も多く、次いで愛知県が63人、千葉県が48人、神奈川県と東京都が44人で北海道は33人で10位となっている。

区分\都道府県	愛知	大阪	埼玉	千葉	神奈川	北海道	群馬	茨城	東京	広島	全国
5月中死者数	15	14	11	9	9	9	9	8	7	7	208
ワースト順位	1	2	3	4	4	4	4	8	9	9	-
前年比	0	5	1	-3	-4	-2	7	-1	-4	-1	-6
増減率(%)	0.0	55.6	10.0	-25.0	-30.8	-18.2	350.0	-11.1	-36.4	-12.5	-2.8

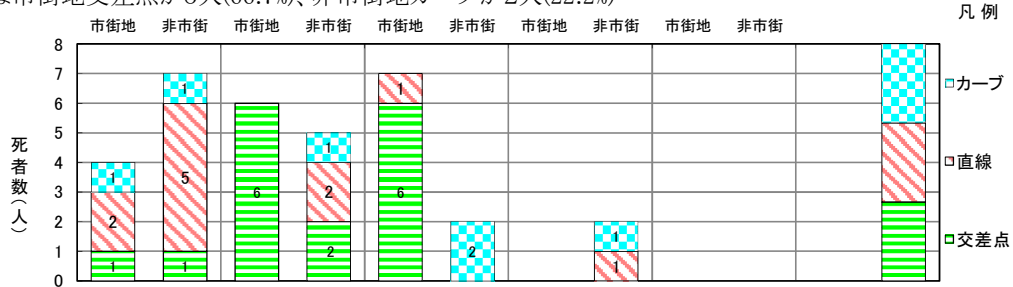
区分\都道府県	大阪	愛知	千葉	神奈川	東京	福岡	兵庫	埼玉	茨城	北海道	全国
5月末死者数	72	63	48	44	44	40	39	39	38	33	1,006
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	7	9	10	-
前年比	18	5	-3	-1	-5	17	-4	-8	7	-5	39
増減率(%)	33.3	8.6	-5.9	-2.2	-10.2	73.9	-9.3	-17.0	22.6	-13.2	4.0

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道と道道が各々11人(33.3%)で、市町村道が9人(27.3%)となっている。

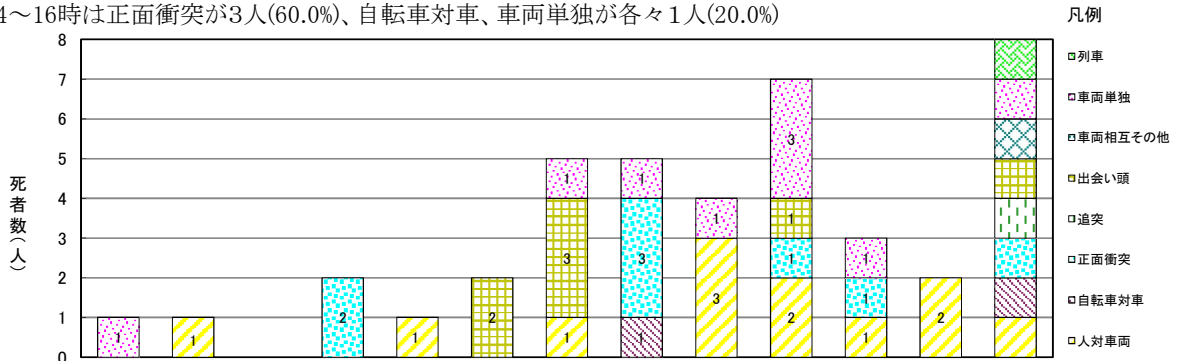
- ・ 国道は非市街地直線が5人(45.5%)、市街地直線が2人(18.2%)
- ・ 道道は市街地交差点が6人(54.5%)、非市街地交差点、直線が各々2人(18.2%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が6人(66.7%)、非市街地カーブが2人(22.2%)



区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	11	11	9	2		33
構成率(%)	33.3	33.3	27.3	6.1		100.0
過去5年構成率	43.4	18.9	29.1	3.6	5.1	100.0

(2) 時間別

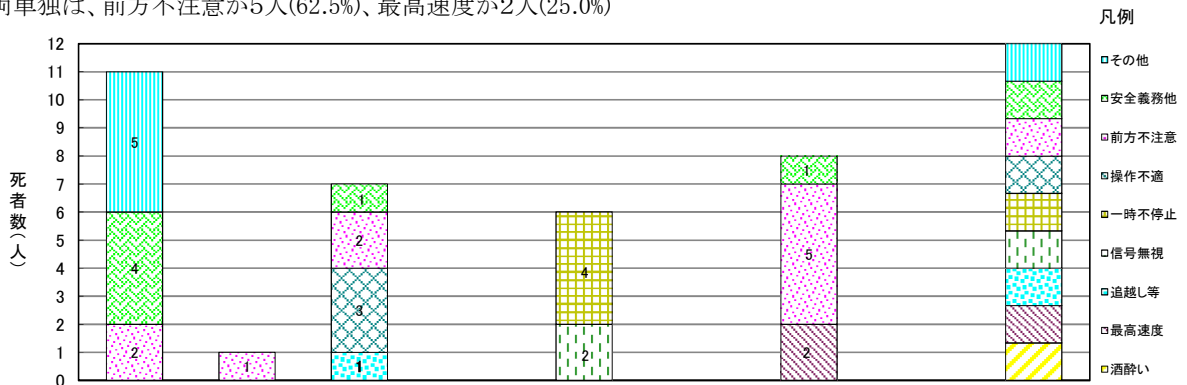
- ・ 18～20時が7人(21.2%)で最も多く、12～14時、14～16時が各々5人(15.2%)となっている。
- ・ 18～20時は車両単独が3人(42.9%)、人対車両が2人(28.6%)
- ・ 12～14時は出会い頭が3人(60.0%)、人対車両、車両単独が各々1人(20.0%)
- ・ 14～16時は正面衝突が3人(60.0%)、自転車対車、車両単独が各々1人(20.0%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	1	1		2	1	2	5	5	4	7	3	2	33
構成率(%)	3.0	3.0		6.1	3.0	6.1	15.2	15.2	12.1	21.2	9.1	6.1	100.0
過去5年構成率	3.6	2.6	2.0	8.7	10.2	12.2	12.8	16.8	8.7	10.2	7.7	4.6	100.0

(3) 事故類型別

- ・ 人対車両が11人(33.3%)で最も多く、次いで車両単独が8人(24.2%)となっている。
- ・ 人対車両は、その他(2人の歩行者妨害含む)が5人(45.5%)、安全義務他が4人(36.4%)、
- ・ 車両単独は、前方不注意が5人(62.5%)、最高速度が2人(25.0%)



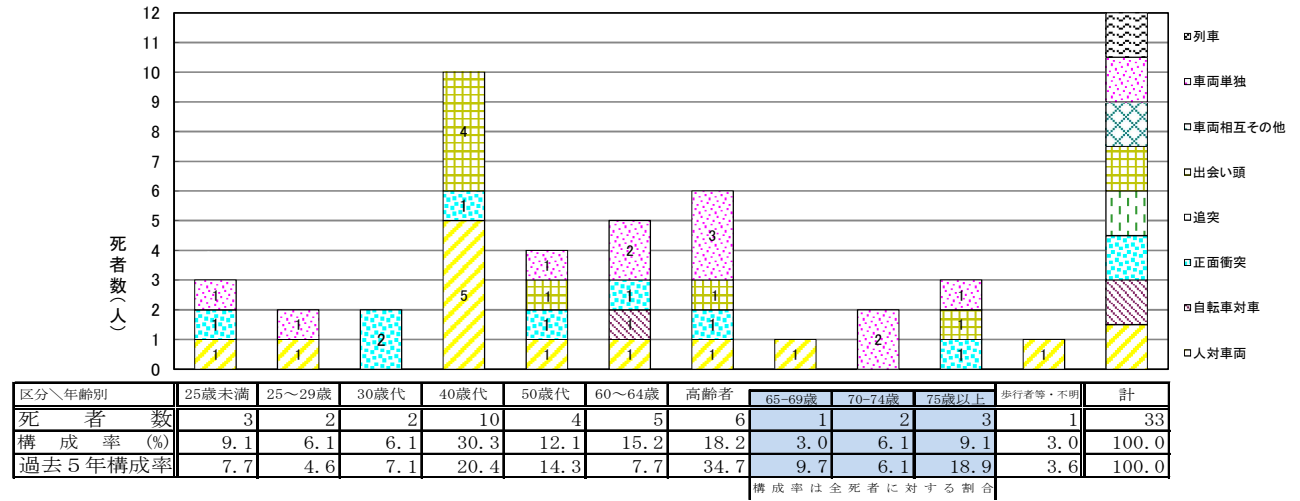
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	11	1	7		6	8		33	
構成率(%)	33.3	3.0	21.2		18.2	24.2		100.0	
過去5年構成率	28.6	3.6	20.9	2.0	11.7	28.1	0.5	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別

40歳代運転者によるものが10人(30.3%)で最も多く、次いで高齢運転者が6人(18.2%)となっている。

- ・ 40歳代の運転者は人対車両が5人(50.0%)、出会い頭が4人(40.0%)
- ・ 高齢運転者は車両単独が3人(50.0%)、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人(16.7%)

凡例

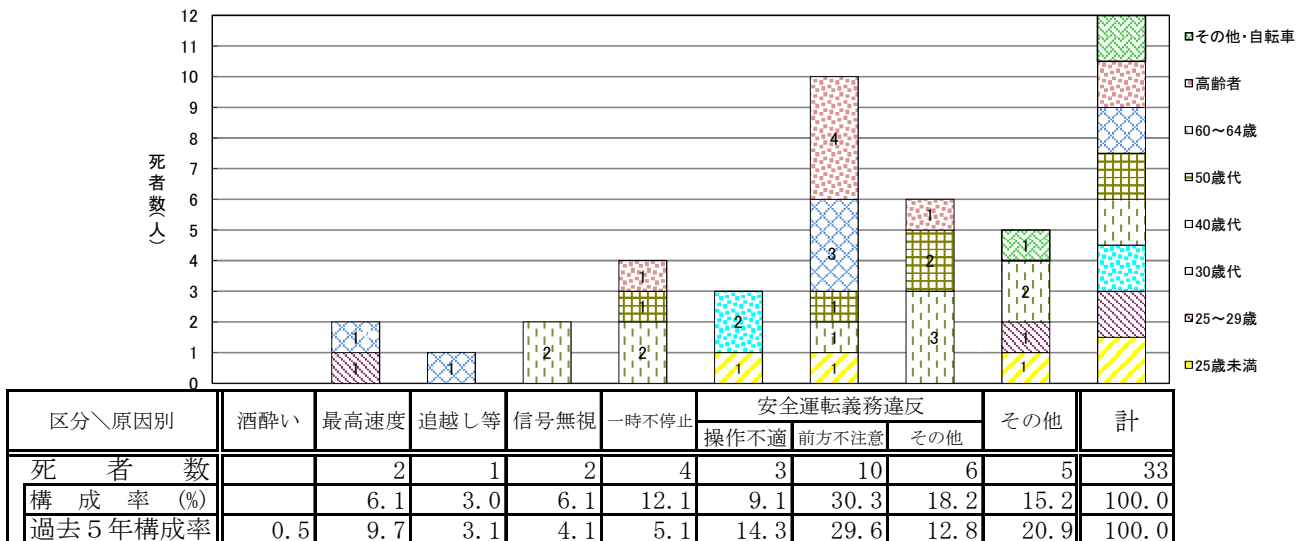


(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが10人(30.3%)で最も多く、次いで一時不停止によるものが4人(12.1%)となっている。

- ・ 前方不注意は高齢運転者が4人(40.0%)、60～64歳の運転者が3人(30.0%)
- ・ 一時不停止は40歳代の運転者が2人(50.0%)、50歳代、高齢運転者が各々1人(25.0%)

凡例

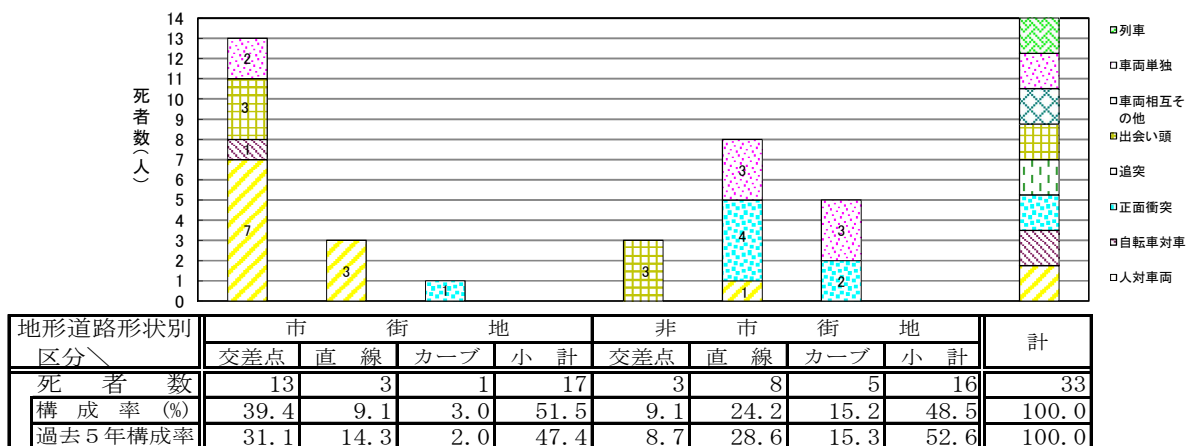


(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が13人(39.4%)で最も多く、次いで非市街地直線が8人(24.2%)。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が7人(53.8%)、出会い頭が3人(23.1%)
- ・ 非市街地直線は、正面衝突が4人(50.0%)、車両単独が3人(37.5%)

凡例

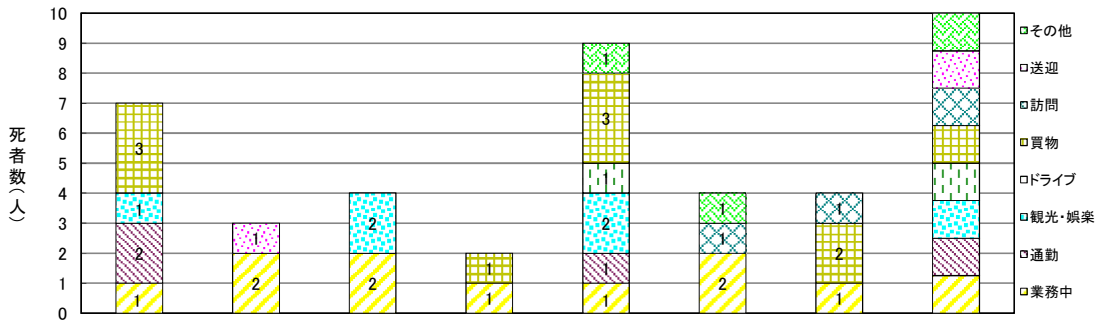


(7) 曜日別

木曜日が9人(27.3%)、日曜日が7人(21.2%)となっている。

- ・ 木曜日は、買い物が3人(33.3%)、観光・娯楽が2人(22.2%)
- ・ 日曜日は買い物が3人(42.9%)、通勤中が2人(28.6%)

凡例



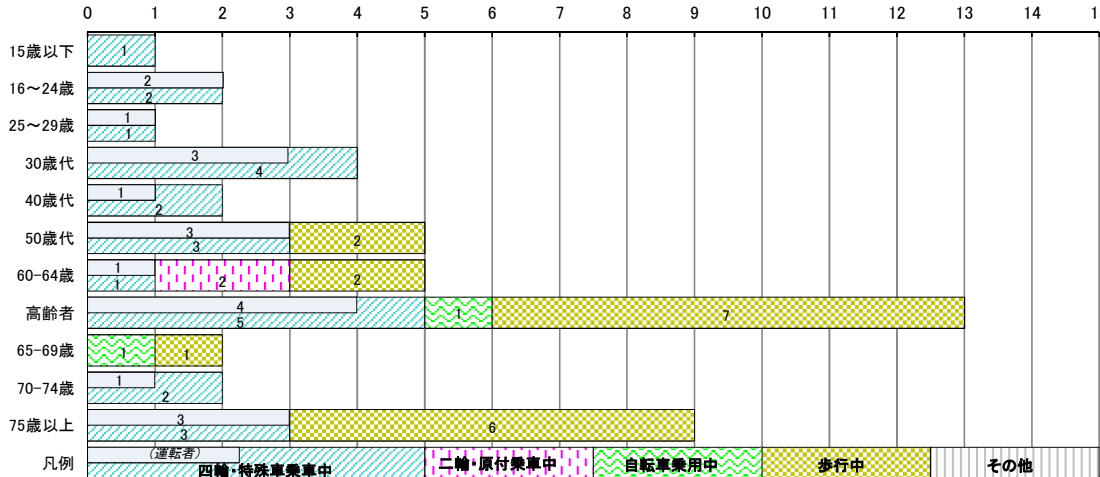
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	7	3	4	2	9	4	4	33
構成率 (%)	21.2	9.1	12.1	6.1	27.3	12.1	12.1	100.0
過去5年構成率	15.8	11.2	13.3	11.7	16.3	19.9	11.7	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が19人(57.6%)で最も多く、歩行中が11人(33.3%)となっている。

- ・ 四輪乗車中の死者別年齢層は、高齢者が5人(26.3%)、30歳代が4人(21.1%)
- ・ 歩行中は高齢者が7人(63.6%)、50歳代、60~64歳が各々2人(18.2%)
- ・ 死者の年齢層別では、高齢者が13人(39.4%)で、うち75歳以上が9人(69.2%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (原付を含む)	自 転 車 乗 用 中	歩 行 中	そ の 他	計	構 成 率	5年構成率
								(%)	(%)
15歳以下	死者数	1	0	0	0	0	1	3.0	1.5
16~24歳	死者数	2	0	0	0	0	2	6.1	4.1
25~29歳	死者数	1	0	0	0	0	1	3.0	3.1
30歳代	死者数	4	0	0	0	0	4	12.1	6.1
40歳代	死者数	2	0	0	0	0	2	6.1	10.7
50歳代	死者数	3	0	0	2	0	5	15.2	11.7
60~64歳	死者数	1	2	0	2	0	5	15.2	8.2
高齢者	死者数	5	0	1	7	0	13	39.4	54.6
65~69歳	死者数	0	0	1	1	0	2	6.1	10.7
70~74歳	死者数	2	0	0	0	0	2	6.1	6.6
75歳以上	死者数	3	0	0	6	0	9	27.3	37.2
計	死者数	19	2	1	11	0	33	100.0	—
	構成率	57.6	6.1	3.0	33.3	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	57.1	8.7	4.6	28.6	1.0	100.0	—	—

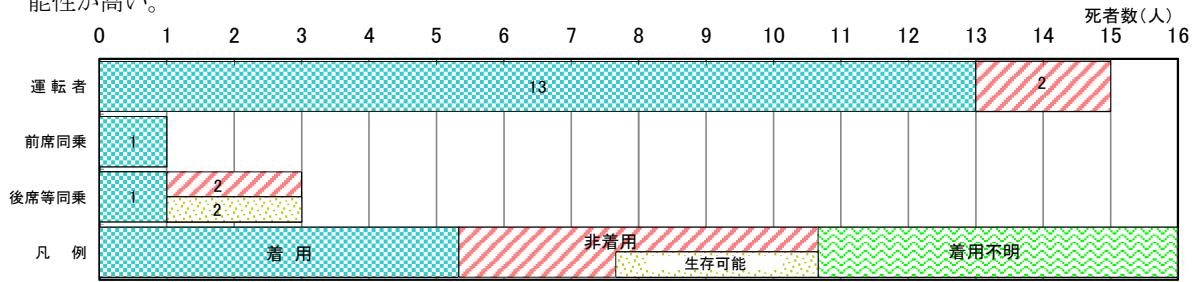
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者19人中、シートベルト非着用者は4人(21.1%)となっている。

非着用者の4人のうち、2人(後部座席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



状態別 区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明
		計	運転者	同乗者 助手席	同乗者 後部席	計	運転者 生存可	同乗者(助手席) 生存可	同乗者(後部席) 生存可	
令和5年	19	15	13	1	1	4	2	0	2	2
構成率(%)	100.0	78.9	86.7	6.7	6.7	21.1	50.0	0	50.0	10.5

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、30歳代、40歳代、50歳代、60～64歳が各々1人(25.0%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	高齢者の内訳			その他・不明	計
								65～69歳	70～74歳	75歳以上		
ベルト着用	3	1	3	1	2		5	2	2	3		15
構成率(%)	20.0	6.7	20.0	6.7	13.3		33.3	13.3	13.3	20.0		100.0
ベルト非着用			1	1	1	1						4
構成率(%)			25.0	25.0	25.0	25.0						100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者4人の損傷加害部位をみると、車外他、天井、座席、車内他が各々1人(25.0%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
ベルト着用			5	1		2	1		1	3	2	15
構成率(%)			33.3	6.7		13.3	6.7		6.7	20.0	13.3	100.0
ベルト非着用		1						1	1	1		4
構成率(%)		25.0						25.0	25.0	25.0		100.0
運転者		1						1				2
構成率(%)		25.0						25.0				50.0
同乗者									1	1		2
構成率(%)									25.0	25.0		50.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。